

特選作品に対する審査員講評

1 広報紙部門

○入善町 「広報入善」 令和7年9月号

(3年連続、通算24回目の特選受賞)



・町の基幹産業・農業の現状や入善高校農業科の取り組みがよく理解できる特集だった。写真のコマ選びや見出しの力強さが秀逸な上、適度な余白もあって読み進めやすい。町の次代を担う子どもたちにも、ぜひ読んでもらいたい。紙面全般的にメリハリを付けたレイアウトで、「町の動き」が分かる作りになっている。

・表紙から特集への流れがスムーズで読み進めやすい。入農生の活動を通して地元の農業を取り巻く課題も紹介しており、自分事として受け止めやすい。また若い人材を応援したいという気持ちをうまく盛り上げていると感じた。読み応えある特集となっている。

・1冊を通して、町民の方にフォーカスしているコーナーが多く、温かい気持ちになる広報紙になっている。また、たくさん写真が使用されているのが印象的で、その1つ1つに細やかなキャプションがつけられていて親切かつ、読み応えのある広報紙になっている。

2 写真部門

○入善町 「広報入善」令和7年8月号

(3年ぶり、通算4回目の特選受賞)



- ・子どもの目線までぐっと下がり、瞬間的な表情をうまくとらえた。水しぶきもばっかり。
- ・水しぶきが爽快。子どもの表情も最高ですね。魚がもう少し見えると満点。
- ・魚を捕まえる瞬間をとらえた躍動感ある一枚。夏号の表紙にぴったりの涼しい気持ちになる表紙。

3 映像部門

○射水市 射水市20年の歩み～四季が織りなす未来への絆～

(2年ぶり、通算3回目の特選受賞)



- ・射水市20年の歩みを洗練された作りで、ノスタルジックで情感のある作風で発信している点は高く評価できる。撮影、編集も上質で、音効の選曲も秀逸。



・前半の「過去映像」、後半の「季節映像」とともに射水市の魅力が伝わってくる内容構成。後半は、子どもの表情を重ね合わせることにより、自然や町の魅力が引き立ち、また市の明るい未来へのイメージにもつながっている。



・前半部分「過去映像」のテンポ感がよく、後半部分「季節映像」も映像が鮮やかで射水市の魅力が詰まった映像となっている。